



内科・小児科

Omotesando SHUTO Clinic

表参道 首藤クリニック <完全予約制>

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-2-19 表参道山田ビル1F

## EIS-BF 検査(通電式検診スキャナー)

### 1. EIS-BF (Electro Interstitial Scan-Bio feedback) とは？

EIS-BF は、通電式検診スキャナー(生体電流インピーダンス測定装置)と言われるもので、採血



や尿検査を行わず、微弱な電流を流すことで、内蔵・骨・筋肉などの状態や神経伝達物質測定などをおこない、3D 画像でビジュアル化することができる装置です(検査にともなう痛みやしびれは全くありません)。

### 2. EIS 開発の経緯

EIS は、1970 年代にロシア(旧ソ連)連邦宇宙局が、宇宙飛行士の健康管理の目的で研究が進められたのがはじまりと言われています。

もともとは、宇宙ステーションに長期滞在する宇宙飛行士の健康状態を、地球上から遠隔で簡単にモニタリング診断するために研究・開発されました。

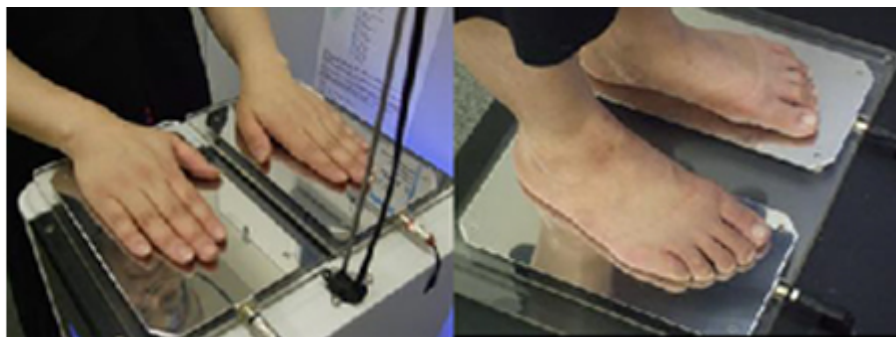
その時採用された手法が、生体電気インピーダンス法(Bio-electrical Impedance Analysis: BIA 法)でした。

弱い電流を流すことで、全身の臓器の状態などが把握できます。

その後、欧州や米国で検査の膨大なデータをもとに研究、発展し、商品化に至りました。

### 3. 検査法は？

(1)身長・体重・年齢・血液型を入力し、プレートに両手足をのせます。額にも電極を取り付けます。



(2)両手足と額の計 6 ヲ所の電極からごく微量の電流を流して全身のインピーダンスの測定をおこないます(しびれたりすることはありません)。

(3)結果はパソコン上に 3D 画像やグラフにより表示され、それを見ながら説明します。必要な箇所は印刷してお渡しいたします。

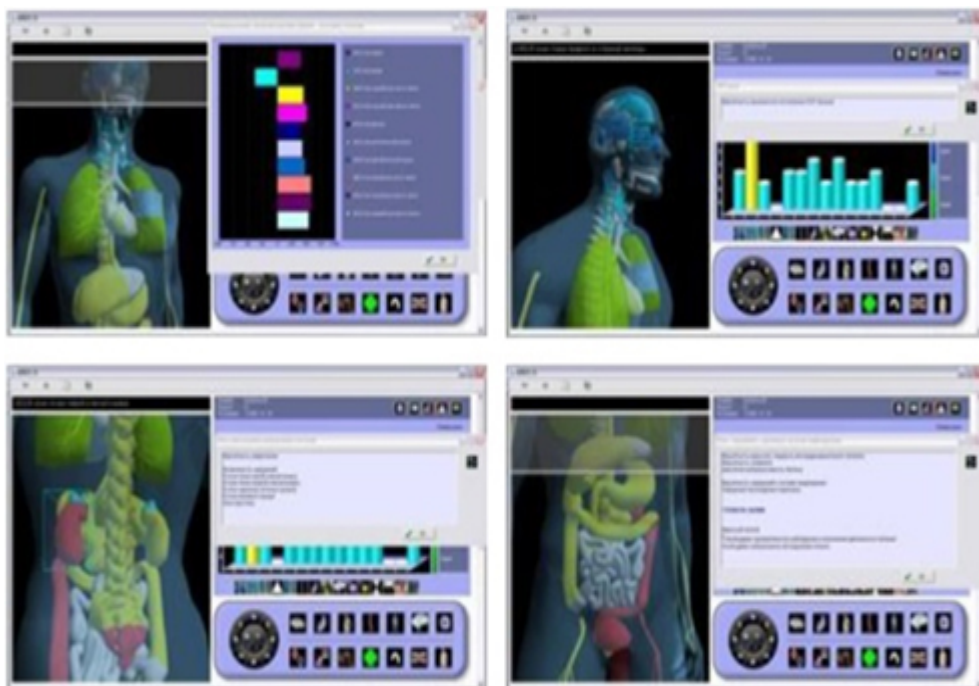
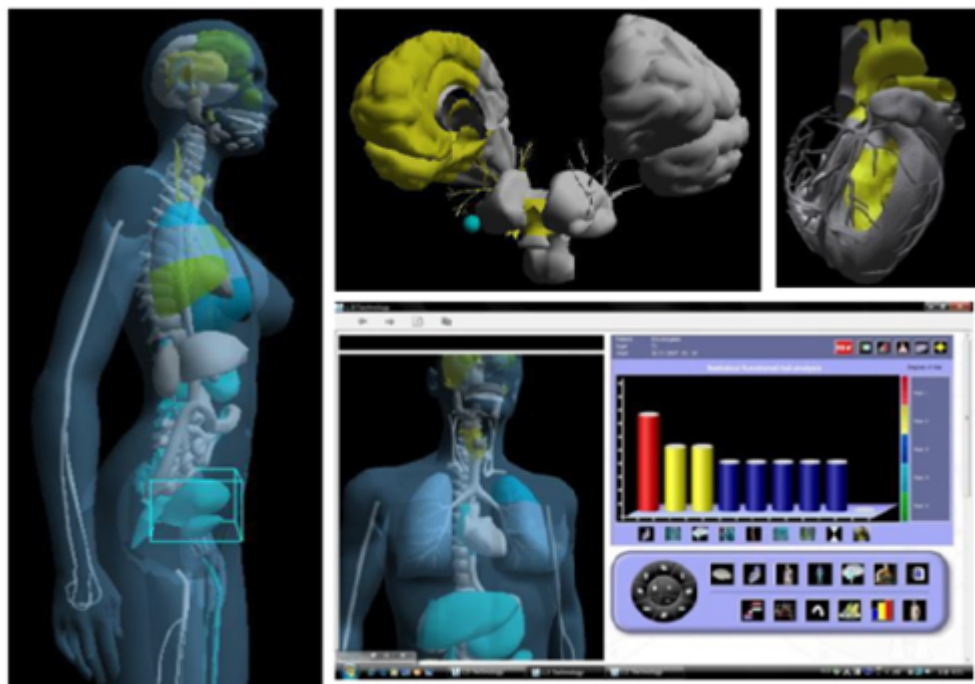
※服を着たままで OK です。

※検査時間は約 3 分です。

#### 4. 検査結果は？

検査結果では、神経伝達物質測定・内臓全般・脊髄生化学測定、注意すべき食生活習慣(栄養のアドバイス・適応食品リスト)などを確認することができます。

パソコンの画面上に、3D 画像で視覚化して説明いたします。



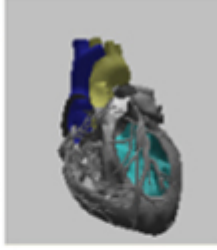
本検査を治療前と治療後におこなうことで、治療効果判定の参考にいたします。

<治療による改善例>

(3Dカラー画像)

2015/03/09 測定

治療前

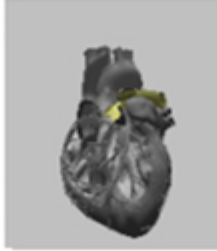


消化器 生体組織のモデル色

- 軽度炎症期
- 必要に応じた細胞活動の増加
- 炎症第二期
- 線維化又は癒着化
- 正常範囲
- 慢性炎症期
- 組織灌流の軽度減少
- 必要に応じた細胞活動の減少
- 組織灌流減少及び不眠/低酸素症の可能性
- 急性炎症第一期
- 組織破壊に伴う慢性炎症
- 低酸素及び細胞増殖

2015/03/27 測定

治療後



原生殖部 生体組織のモデル色

- 軽度炎症期
- 細胞活動の低下
- 炎症第二期
- 線維化又は癒着化
- 正常範囲
- 慢性炎症期
- 組織灌流の軽度減少
- 細胞活動減少
- 組織灌流減少及び不眠/低酸素症の可能性
- 急性炎症第一期
- 組織破壊に伴う慢性炎症
- 低酸素及び細胞増殖

心臓血管機能のモデル色

- 冠状動脈虚血性リスク
- 正常範囲
- 活動量の減少又は血圧低下
- 静脈圧増加
- 活動量の増加又は血圧上昇

被験者プロフィール: 60代、男性

体内3D 視覚化スキャン検査

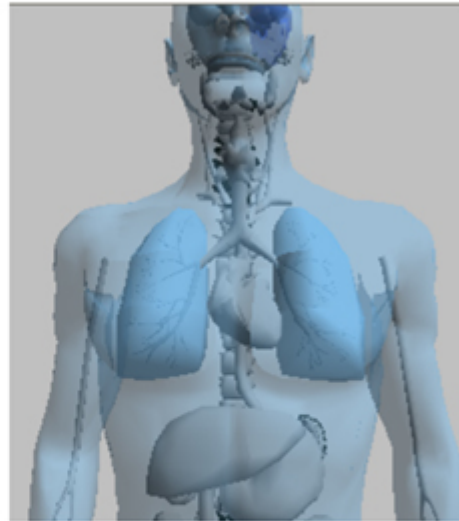
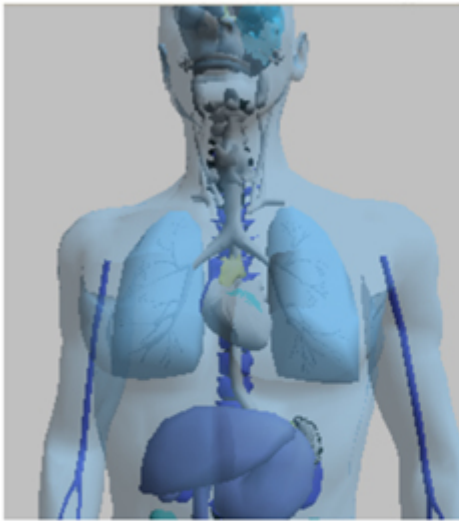
旧ソ連の宇宙飛行士の健康管理にも利用された技術がドイツ、フランスにおける民生用への改良を経て米国に渡り、さらに進歩して普及し始めました。

## 呼吸器系組織

治療前

→

治療後



- 低換気、高炭酸ガス血症
- 過換気、低炭酸ガス血症
- 正常範囲
- 低酸素血症

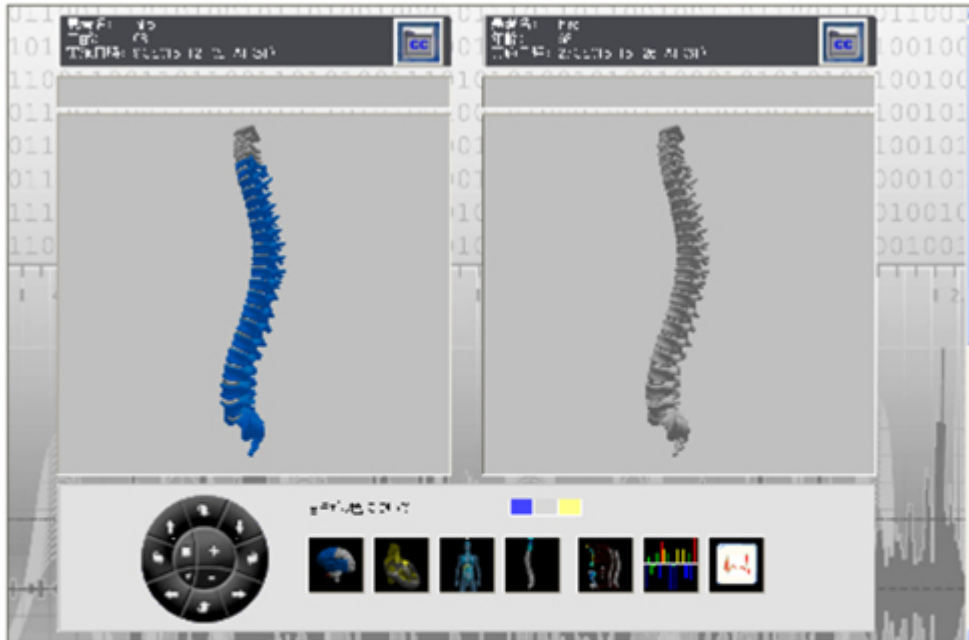
→治療前は、着色(異常)部分が多いが、治療後は無色(正常)の部分が増えている。

## 脊髄

治療前

→

治療後

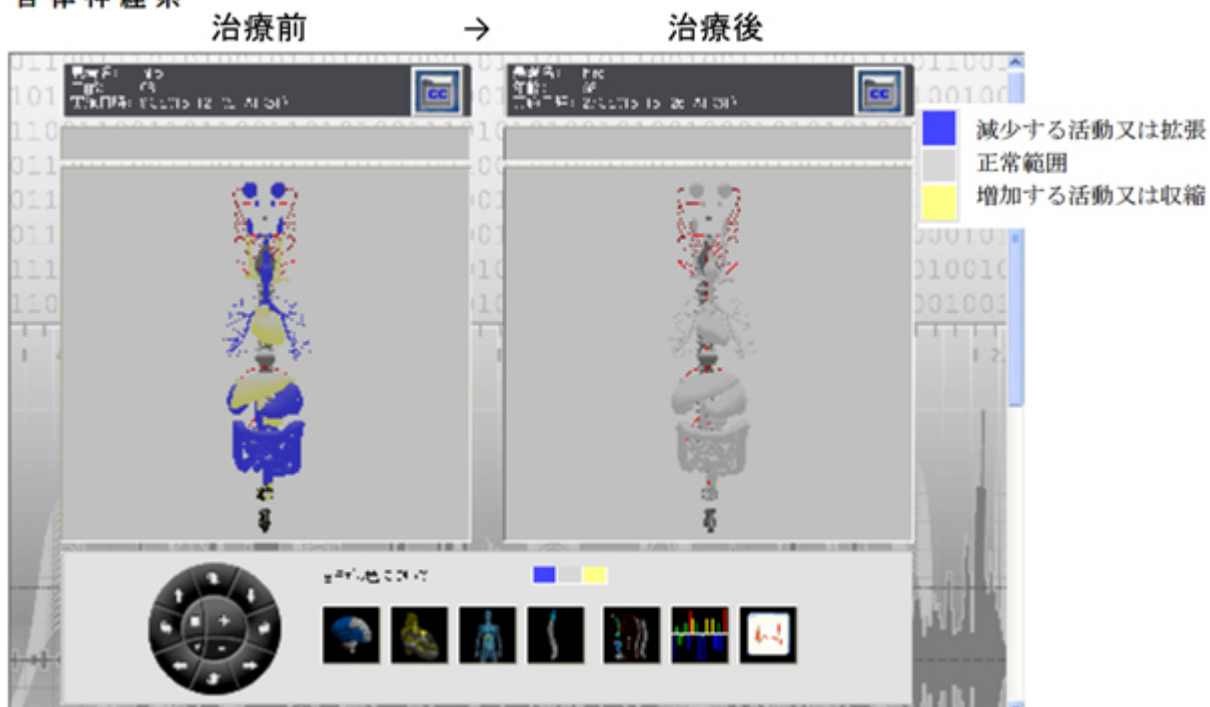


- 骨密度又は神経筋興奮度低下しています。
- 基準値
- 脊髄のずれ又は神経筋興奮度が上昇しています。

→治療前は、背骨全体が青色(異常)だが、治療後は無色(正常)に変化している。

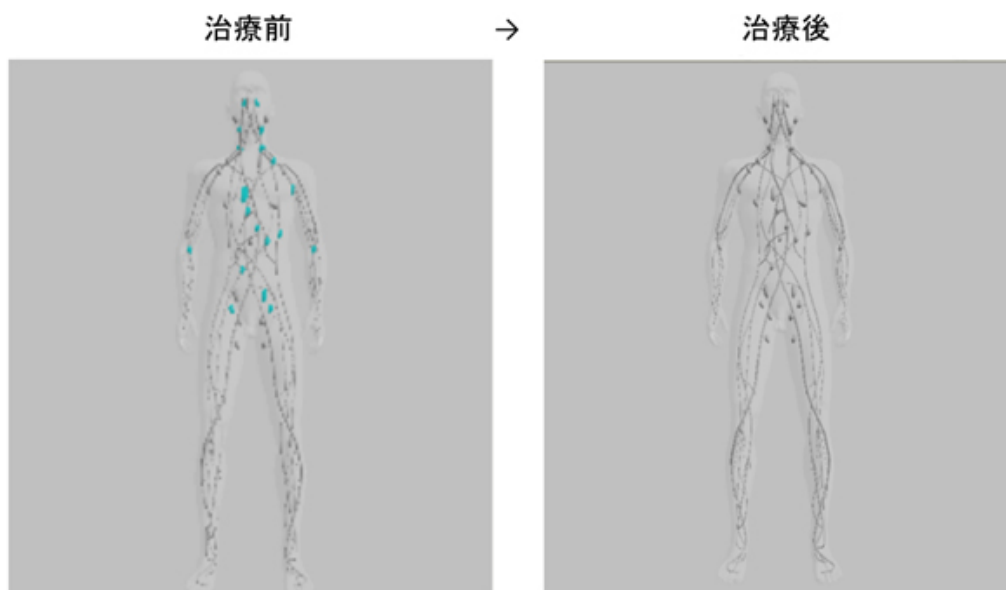


## 自律神経系



→治療前は、自律神経系全体が着色している(異常)が、治療後は無色(正常)に変化している。

## 一般代謝機能【リンパ節】免疫機能



→治療前は、着色(異常)部分が多いが、治療後はすべて無色(正常)になっている。

## 5. 注意事項

- ！ 小さすぎる小児は検査の対象になりません(対象年齢 10 歳以上)。
- ！ ペースメーカーが入っている方は対象になりません。
- ！ 体内に金属が入っている方はご相談ください(歯科のインプラントは検査可)。
- ！ 手足の欠損がある方は対象になりません。
- ！ 妊娠 6 か月以上～出産までの間の方は対象になりません(妊娠初期～中期の方は検査可)。